

夏ノ十表

ほそくみえけれども西行〈さいぎやう〉がころには
おもひまする事なく一向〈ひたすら〉に念佛〈ねんぶつ〉の
こうをつみて仏〈ほとけ〉の来迎〈らいかう〉をまちたて
まつるよりほかには又おもふ事なかりけ
れは思ひたゞざりけんそのさぎくや
しく覚えて

山里にうき世いとはん人もがな
くやしくへしむかしかたらん

ころにまかせぬいのちなりければ都